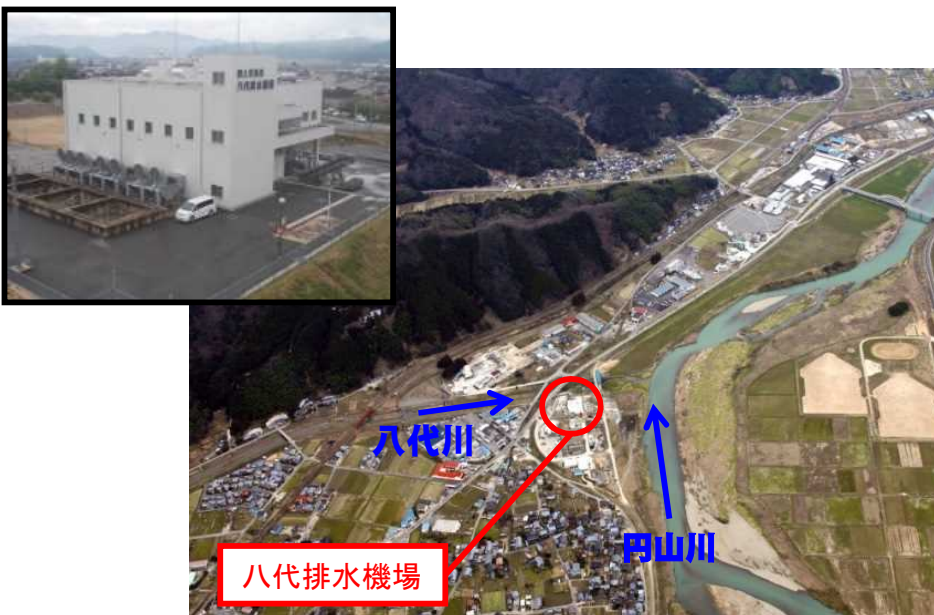


既存排水機場等の効果 円山川水系円山川〔八代排水機場〕

○八代排水機場では、平成29年10月22 16時～23日15時にかけて、沿川での浸水被害発生に備えてポンプを操作・運転し、**総排水量293.5万m³の内水**を排除しました。

■八代排水機場の位置・全景



■八代川の水位低減効果

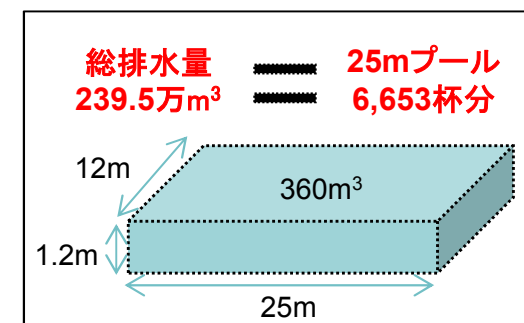
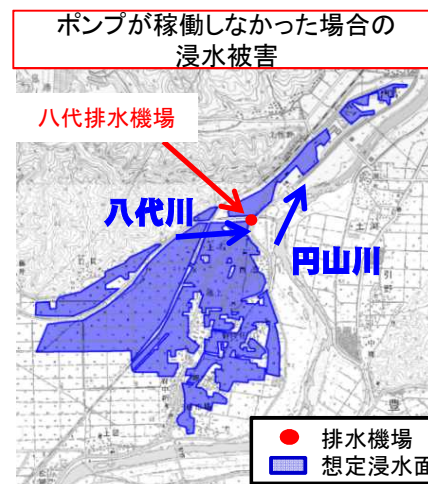
今回のポンプの稼働により、**総排水量239.5万m³の内水**を排出し、八代川の水位が**約1.8m低下**、浸水面積が**約161ha**、浸水家屋が**約510戸減少**。



■八代排水機場の役割

八代排水機場は、八代川における内水対策事業として、平成12年度に運用を開始。平成22年度に既設ポンプ1台を4m³/sに更新し、平成24年度には既設ポンプ3台を9m³/s1台、10m³/s2台に更新、**合計排水能力33m³/s**の排水機場として現在に至っています。

八代排水機場は、円山川洪水の八代川への逆流を防止するとともに、八代川の流水を円山川へ排水することで、豊岡盆地の沿川での浸水被害を軽減する役割を担っています。



※速報値であり、今後変わる場合があります。